

国道121号^{おおとうげ}「大峠道路」部分開通



国道121号は山形県米沢市から栃木県^{ましこ}益子町へ至る道路
ありますが、^{おおとうげ}大峠は幅員が狭く、急カーブ・急勾配が連続して
いるため交通の最大の難所でした。

また、冬期間においては、雪のため通行止めとなり、大幅な迂回を余儀なくされてきました。



このため、昭和49年度から全長25.2kmの大峠道路に着手し、
今回2.5kmを供用することで全体の約9割(22.6km)が完成しました。

今後は、引き続き早期の完成に向けて事業を推進し、平成22年度に全線開通するものです。

全線開通により、雪や災害に強く安全で信頼性の高い交通が確保され、広域交流を促す縦横六本の連携軸の基幹道路として、地域経済の活性化に大きく寄与するものと確信しております。



<旧道状況>



にしざわ
<西沢橋>



<イベント状況(市民参加のウォーキング)>